

# MAZCA

ナスカ

ACT 21

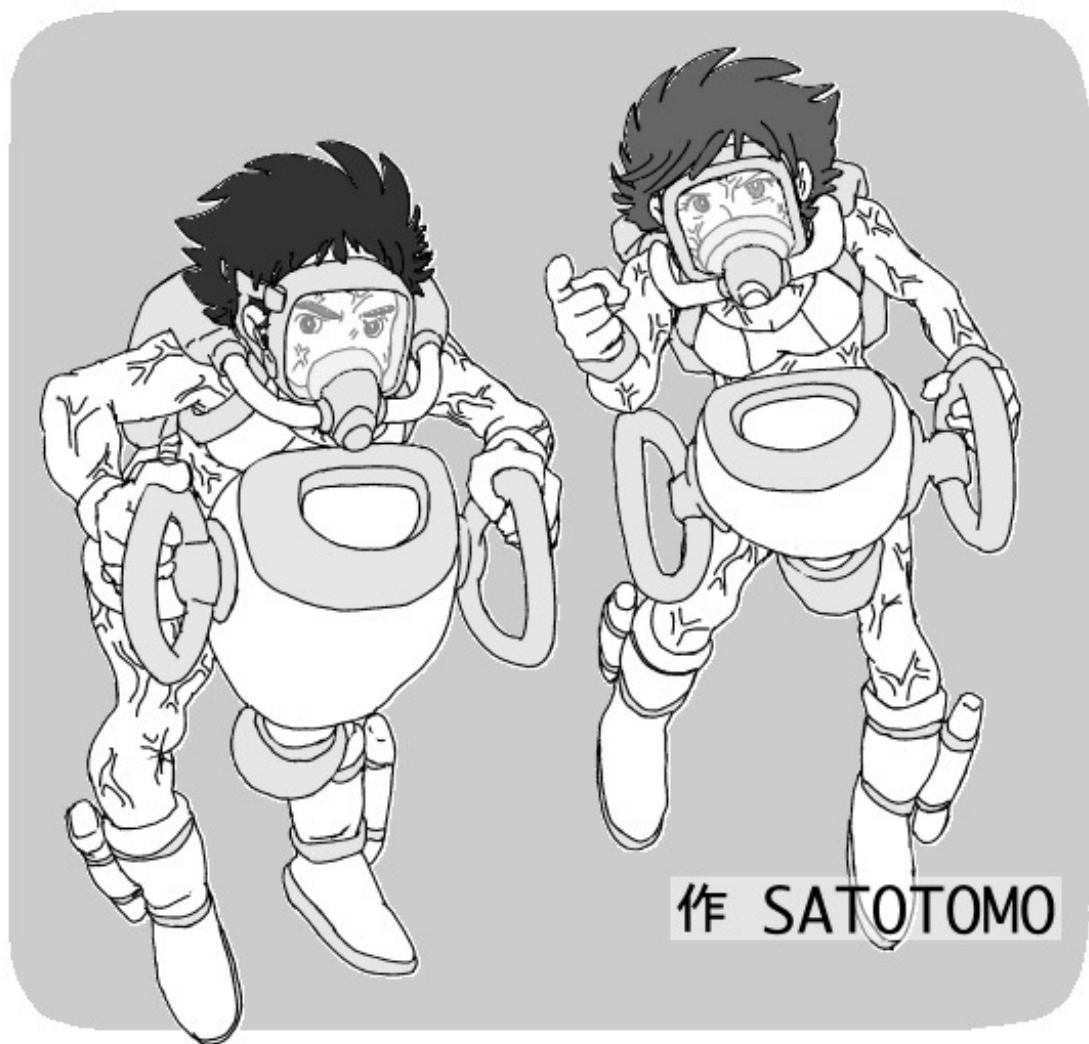


作 SATOTOMO

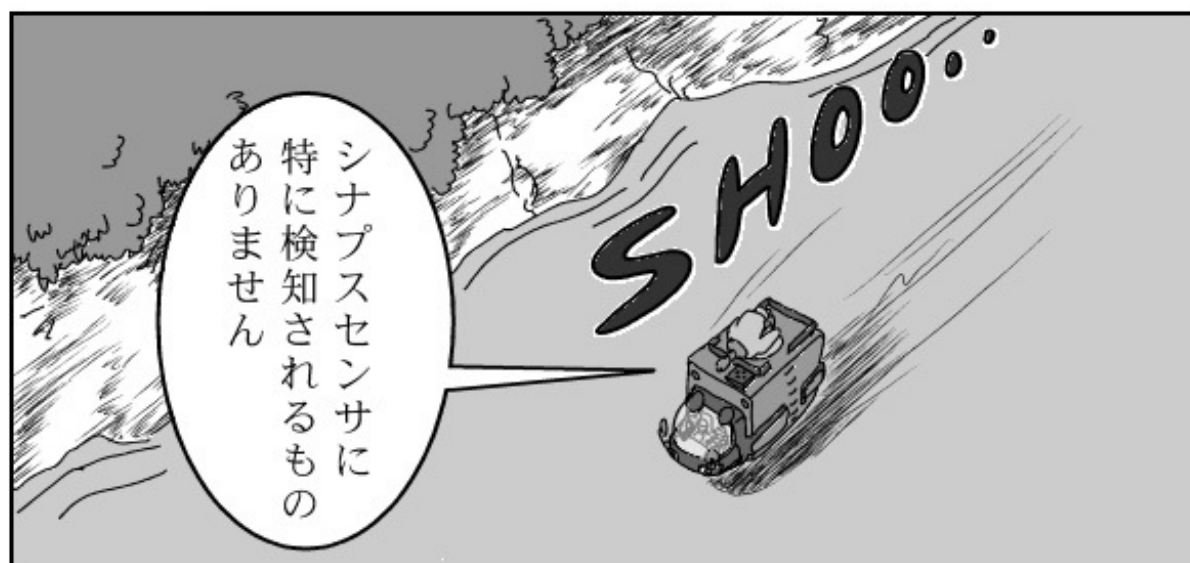
# MAZCA

ナスカ

ACT 21



作 SATOTOMO





マツク  
口が過ぎるぞ  
司令に聞こえたら  
まずいだろう

聞こえや  
しないって

確かに今は  
音声の発信は  
オフにしているけど  
それでもやっぱり  
よくないと思うわ



司令達の態度  
この処変だと  
思うんだ  
何だか余裕が  
なくなっている  
様な・・・

ナスカは  
最近、仕事を  
任されていて

何も感じないって  
ことはないだろ？



思うんだけど  
白軍の本格的な攻撃が  
迫っているんじゃないか  
そんな予感が  
するんだ

直接言っでは  
くれないけれど  
・・・





ちよつと待つて  
私達シナプスだけを  
センシングしていい  
のかしら

これじゃ普通の兵が  
来たとしても・・・

ここにやって来る  
敵の作業員たちが

必ずシナプソルジャーで  
あるって保証はないのよ



対人レーダーも  
一応併用してるよ

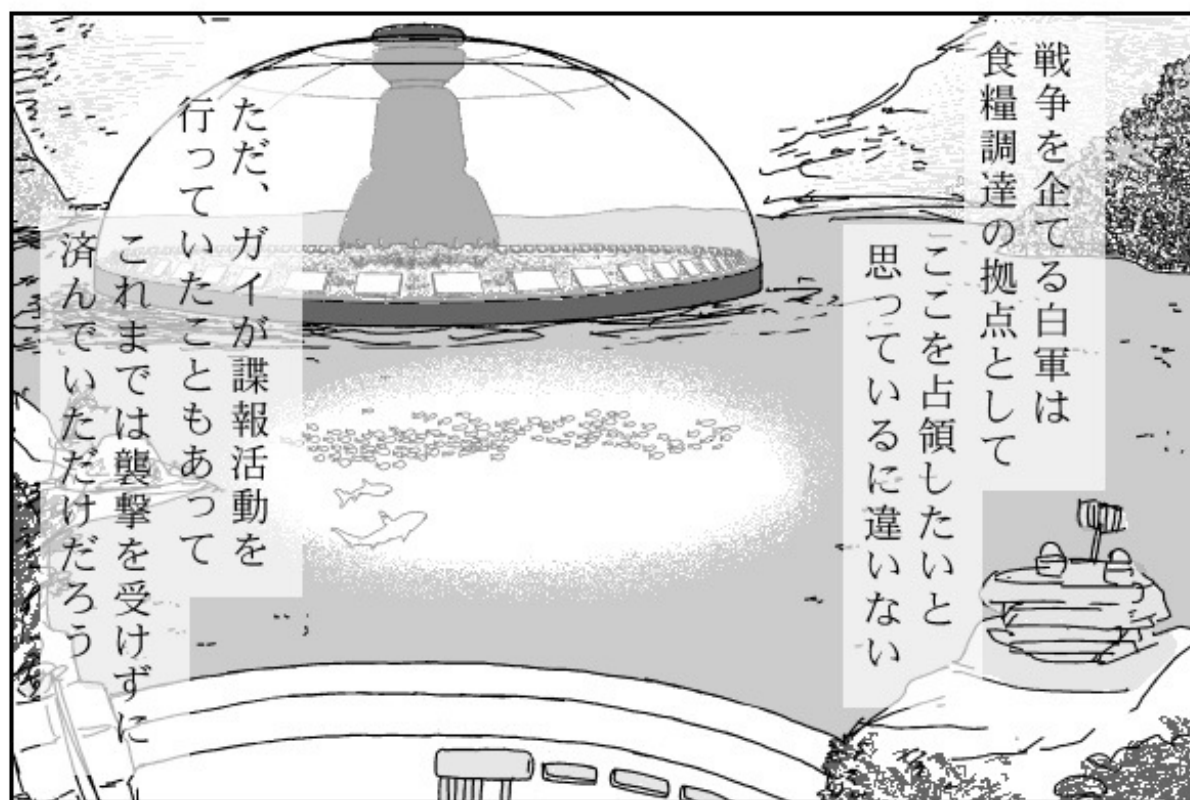
この砲座のじゃ  
気休め程度のものだけど

ネイティブホルダーの  
僕達も敵の標的ならば

一般兵を差向けて来る  
だけでは済むまい

シナプソルジャーは  
必ず来る

そう見るべき  
だと僕は思う

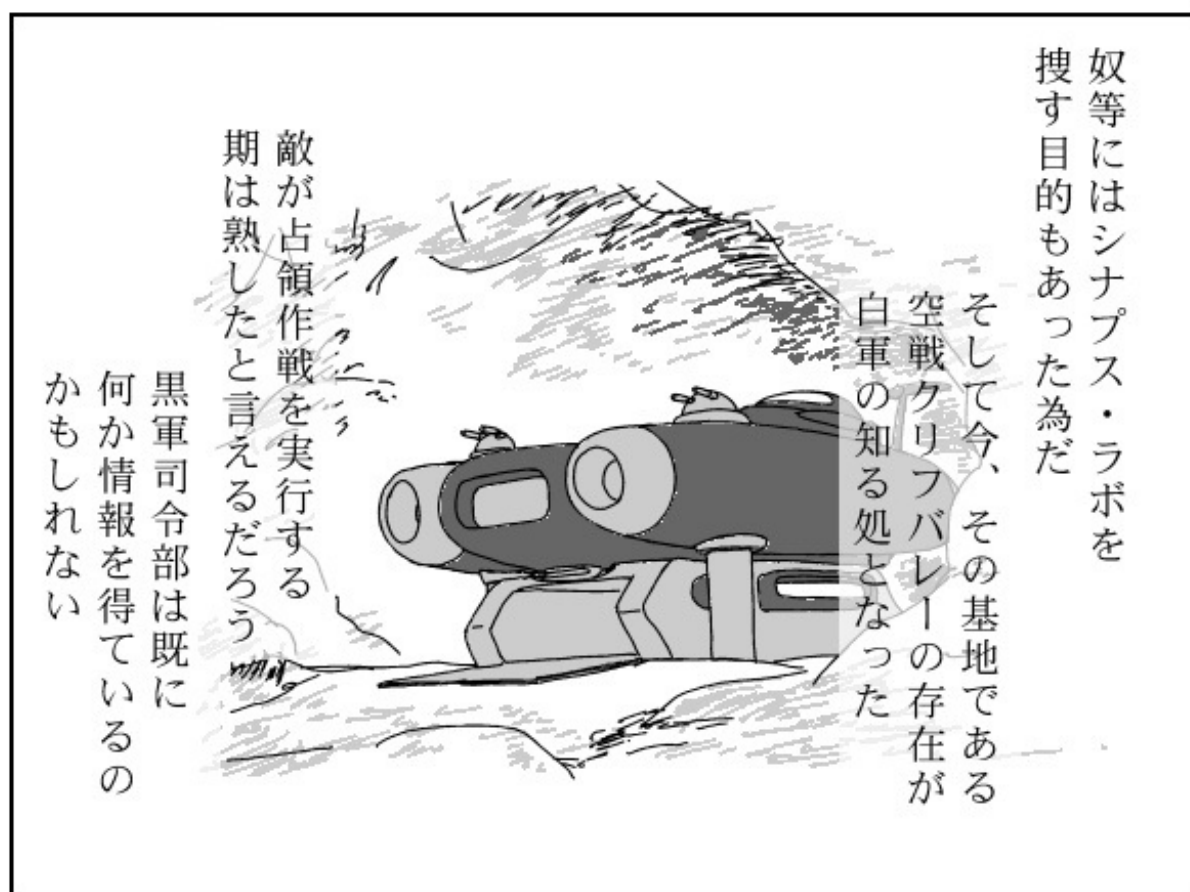


戦争を企てる白軍は  
食糧調達の拠点として

ここを占領したいと  
思っているに違いない

ただ、ガイが諜報活動  
行っていたこともあって

これまでは襲撃を受けずに  
済んでいただけだろう

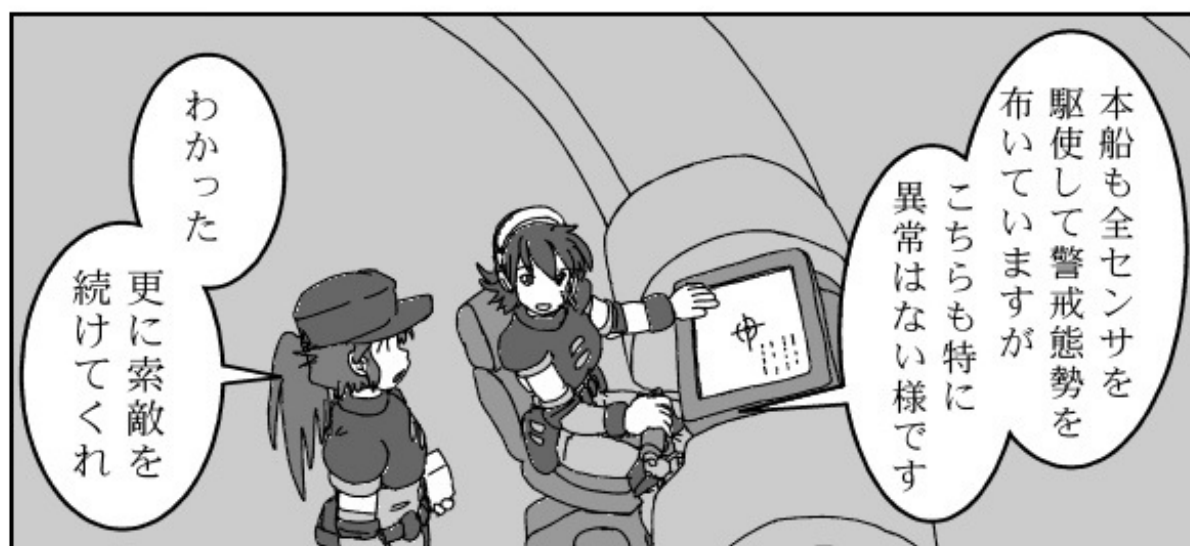


奴等にはシナプス・ラボを  
捜す目的もあった為だ

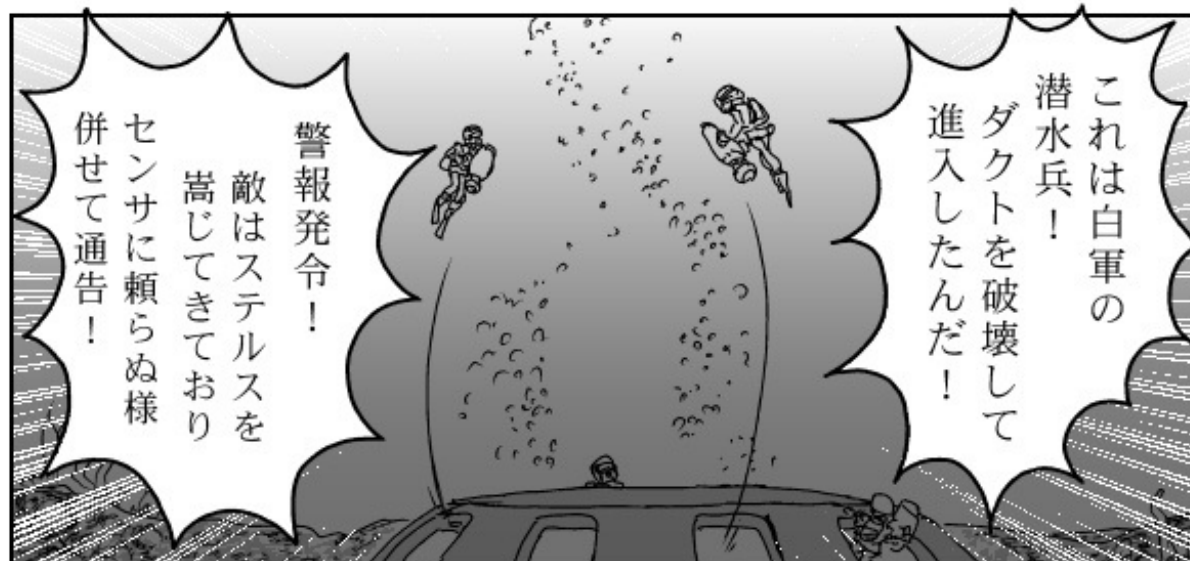
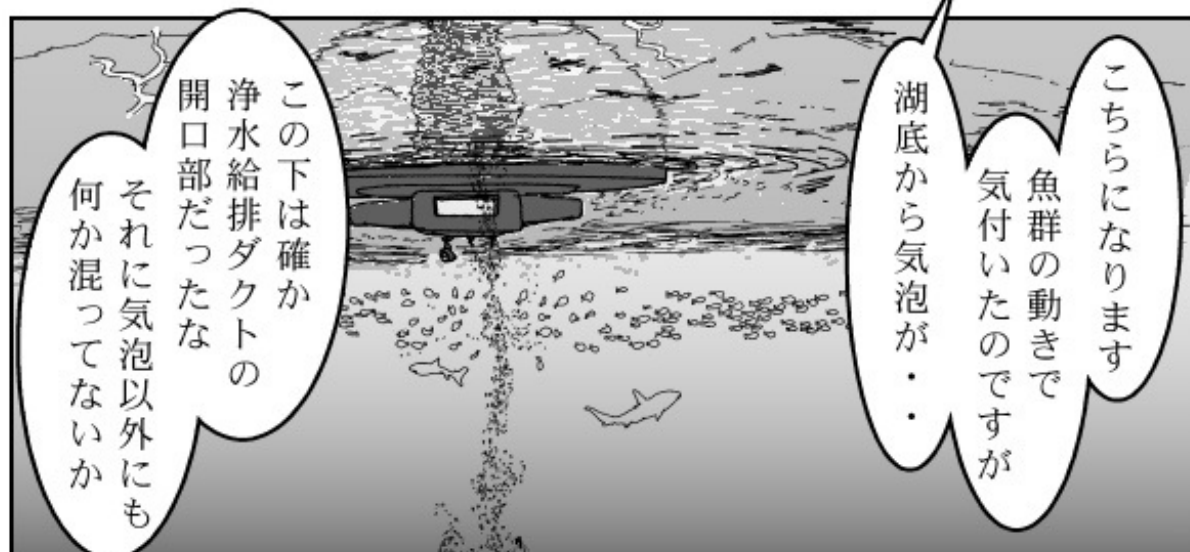
そして今、その基地である  
空戦クリフバレーの存在が  
白軍の知る処となった

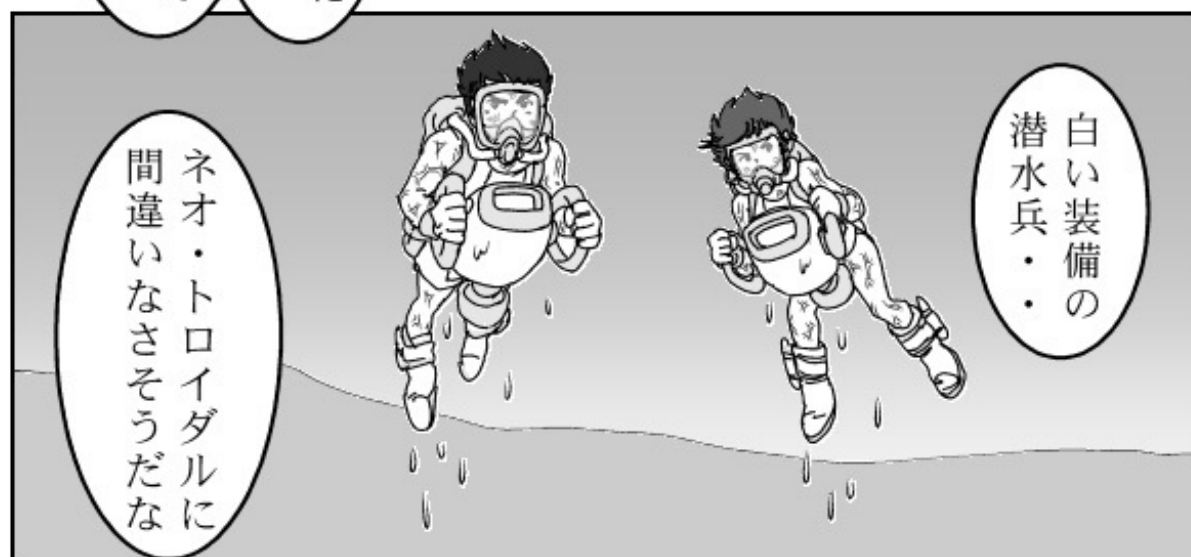
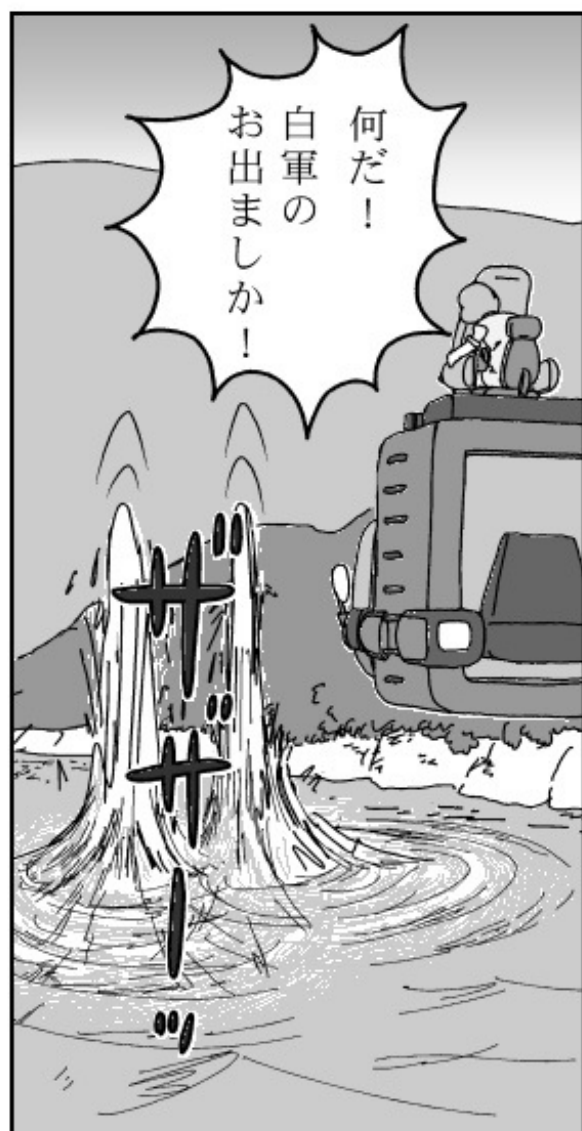
敵が占領作戦を実行する  
期は熟したと言えるだろう

黒軍司令部は既に  
何か情報を得ているの  
かもしれない













ナスカ  
ここは一旦  
逃げましょう

彼等を相手に  
してはいけない

そうしたいのは  
やまやまなんだけど

これはそんなに  
簡単じゃないぞ



私達が先に  
空間転移の法を  
使って

このキャリアを  
瞬間移動させるの

確かにそれなら  
逃げ切れる  
かもしれない

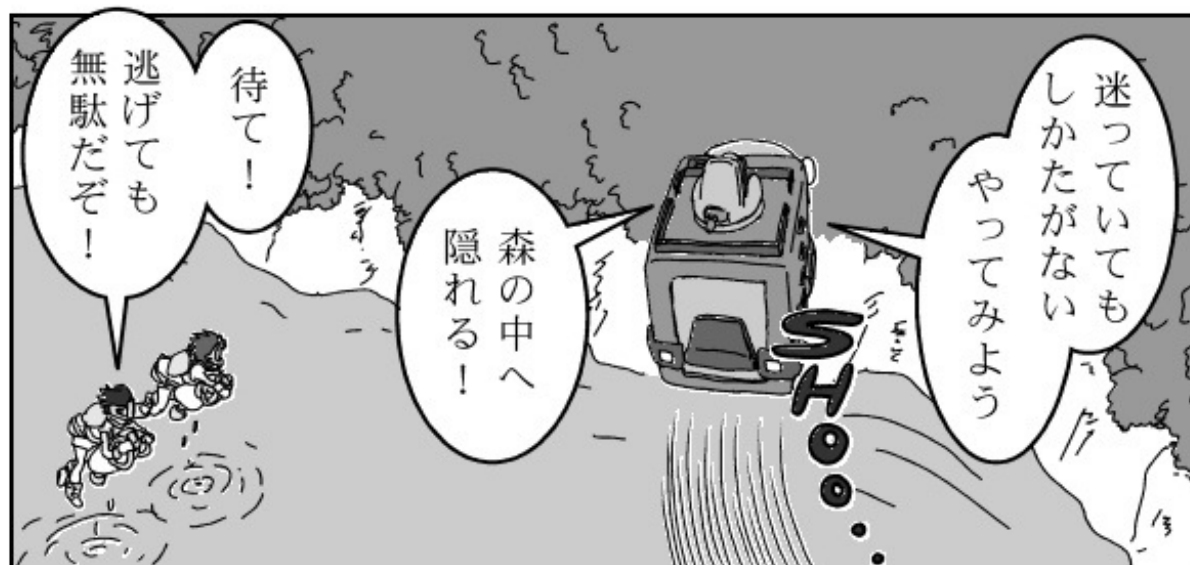


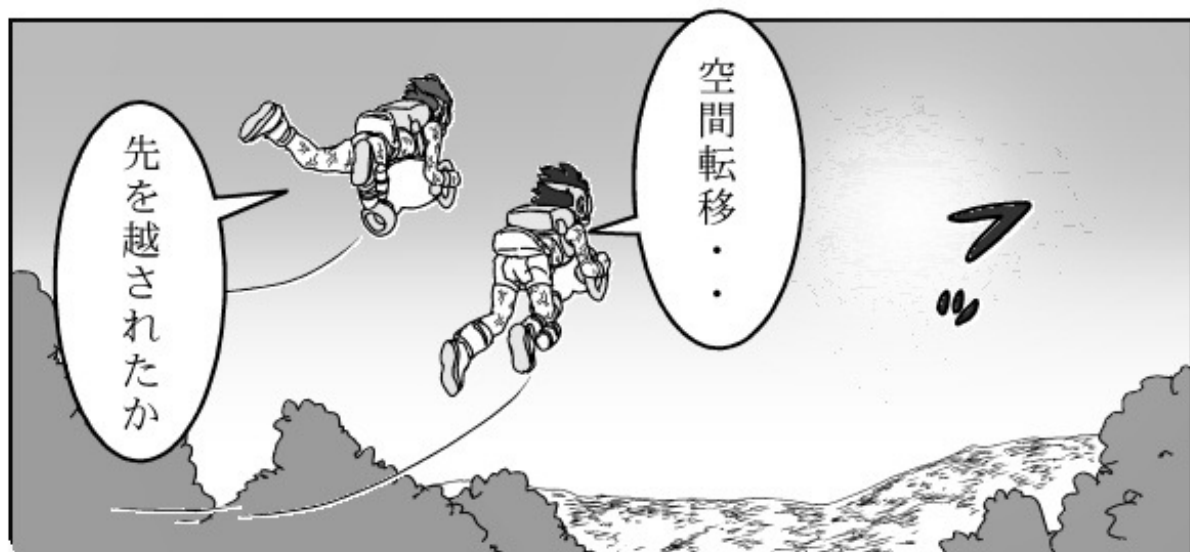
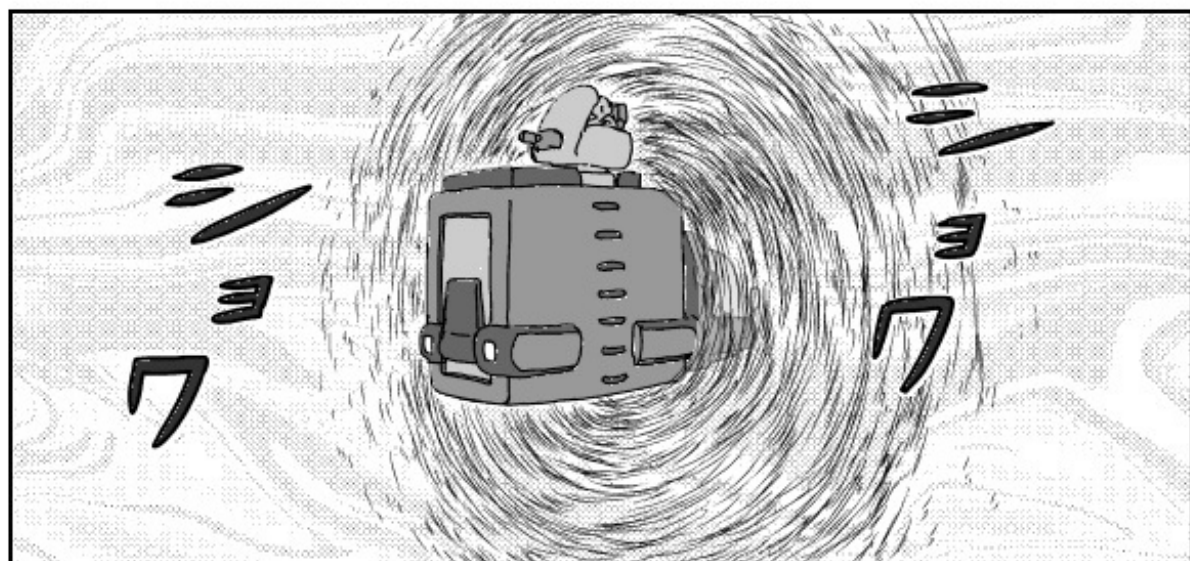
既に敵は  
目と鼻の先に  
いるんだ

逃走しても  
空間転移を  
使われれば

引き戻されるのが  
落ちだよ

キャリアを  
転位させるなど  
奴等にとって  
雑作もないこと  
だろう



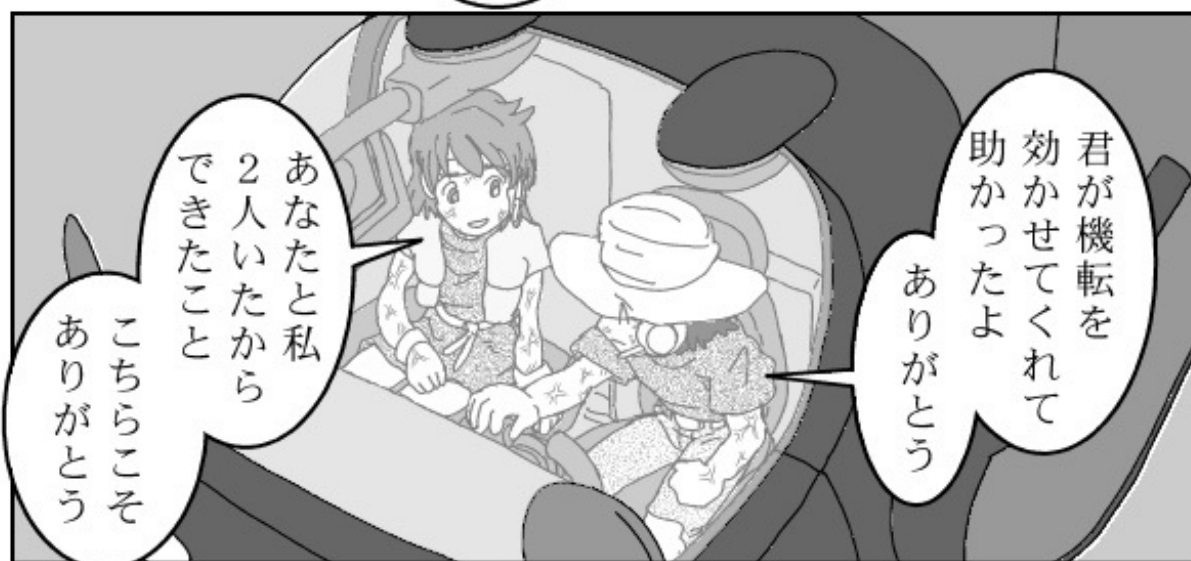




わし等のこと  
完全に  
見失っている  
様だな

しばらくは  
ここで  
身をひそめて  
いた方が  
よさそうだ

クルル

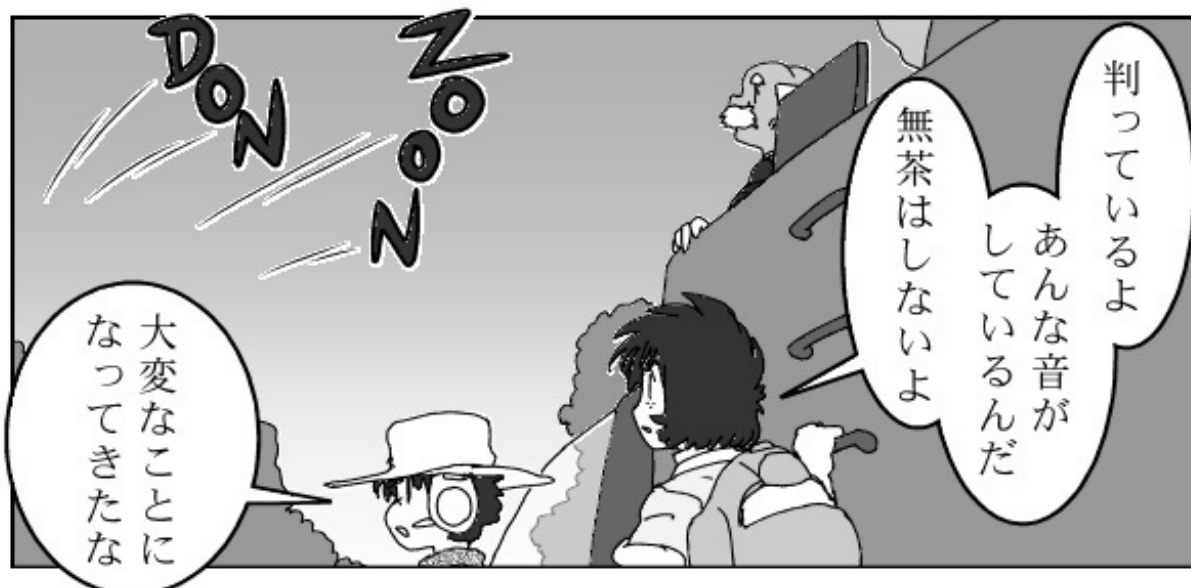
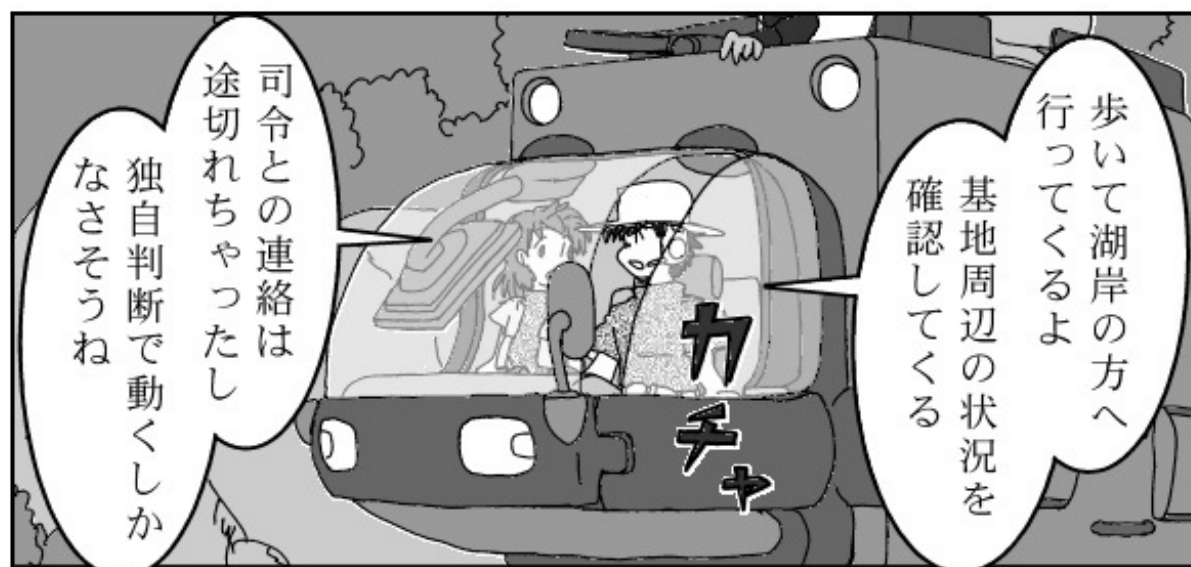


君が機転を  
効かせてくれて  
助かったよ

ありがとう

あなたと私  
2人いたから  
できたこと

こちらこそ  
ありがとう









白軍の  
空戦3号艦が  
息を吹き返して  
きやがった

シナプソルジャーの  
侵入を許したんだ

空間転移の法を  
使われて・・・

黒軍は為す術も  
なかったのだろう

これだけの基地施設を  
瞬時に追い詰めるとは

白軍恐るべし

いや、諦めるのは  
まだ早い

司令達は抵抗を  
し続けている  
はずだ

ACT22 へつづく・・・

# NAZCA ACT21

作者 SATOTOMO

E-mail [BXJ05041@nifty.com](mailto:BXJ05041@nifty.com)

URL <http://satotomo.la.coocan.jp>

2015年7月18日

本書の一部または全部を無断で複製することは禁止します。

## NAZCA ACT21

<http://p.booklog.jp/book/99693>

著者 : SATOTOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/satotomoyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/99693>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/99693>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブクログ